

## News・Collabo ～最近の話題～

テレビや新聞で最近話題になっている言葉の中から、幾つかチョイスしてみました。  
随分前に考えていたようなことが、やっと今制度化されてきたようなもの、あるいはちょっと前には思いつきもしなかったようなものが既に社会や我々の生活の中で急速に普及されているものもありますね。世の中は忙しい！！

### ★ドローンを活用した災害体制の取組

最近ドローントラブルがあちこちで発生し、その使用をめぐる色々な規制もでていますが、これは非常にいいニュース。

福島市が3月24日に、小型無人機（ドローン）の運用技術を持つ市内の民間企業と災害時協定を結んだとのこと。民間企業と自治体間での非常時のドローン活用に関する協定締結は全国2例目だそうですね。

滋賀県彦根市では、4月からドローンを使った観光PR動画にも取り組むとTVニュースで知らせてましたね。

海外ではピザの宅配といった商・サービス面でも様々活用がなされているようです。

今後、このようなドローンの活用事例は我が国でももっと増えてくるのではないのでしょうか。限界集落対策にも、このような発想があっていいと思うのですが、いかがでしょう。



### ★鳥獣害被害を転じてジビエ料理として 学校給食に取り入れ

最近鳥獣被害の話題が頻繁に出てきますが、農水省のデータによると近年鳥獣被害対策を各地で講じていることもあって全国的には減少傾向にあるようですが、それでも公にされているだけで、平成25年でその被害額は199億円。

関東近辺でも、茨城県4.9億円、栃木県2.9億円、群馬県3.9億円と相当な被害がでていますね。

このような中、鹿児島県阿久根市では、捕獲した鳥獣を“ジビエ料理”として加工し、それを学校給食に取り入れることを始めるとのこと。

被害という捉え方だけではなく、“**生き物・命あるもの**”として“**食育**”の一環に組み込む取り組みは非常にいいのではないのでしょうか。

そう思って、農水省のホームページをのぞいてみたら、ありました！「**野生鳥獣肉料理の取組事例**」というのが。みなさんも、是非のぞいてみてはいかがでしょうか。

エゾシカの観光牧場  
(北海道鷹巣町)



シシカレー  
(和歌山県日高川町)



イノシシ料理の開発 (石川県)



猪ジャンボン



猪コロッケ

### ★いいね！！宅幼老所(地域共生型サービス)

まだ、少子高齢化がそれほど声高に叫ばれない30年程前、ある研究調査で“**幼稚園プロジェクト**”というものを提案したことがありました。即ち、小さな子どもを対象にした幼稚園・保育園と高齢者を対象にした老人ホームを合体させたイメージのものです。子どもにとってはお年寄りから色々な事を学び、お年寄りは子どもの元気な声を聴いたり、一緒に遊ぶことによって大いに刺激され元気にもなるというものです。(つい最近、子どもの声がうるさい！といって、保育園立地が反対されたというバカな話もありましたが)

最近、『宅幼老所<地域共生型サービス>』という言葉をよく見かけるようになりました。どうやら平成23年の東日本大震災の復興対策の一つとしてでてきたもので、なかなか場所が確保しにくい震災被害地で、一つの場所で様々な対応を行おうというものです。但し、これは震災対策のみならず、我が国が抱える少子高齢社会の一つの在り方ではないのでしょうか。ひょっとして三世代同居の発想にも繋がるのでは！？

これに先んじて“**富山モデル**”というものがあります。年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に身近な地域でデイサービスを受けられるものです。富山モデルのきっかけとなったのは、平成5年7月、惣万佳代子さん、西村和美さんら3人の看護師が県内初の民間デイサービス事業所「このゆびとーまれ」を創業したことにより誕生したものです。

真の意味での“**共生型社会**”を目指すためには、行政間の縦割りを超え、利用者の目線にたった施策展開がより強く求められてくるのではないのでしょうか。

年齢差0歳のツーショット  
(この指とまれ：HPより)



宅幼老所 あゆみのいえ  
(兵庫県尼崎市)

